

経営比較分析表／団体全体（平成30年度決算）

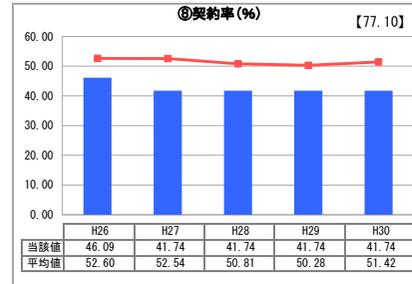
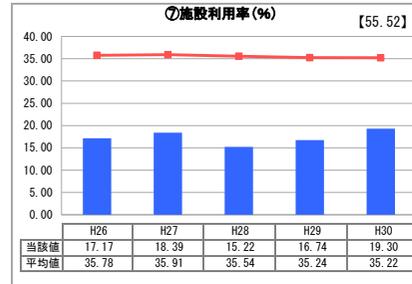
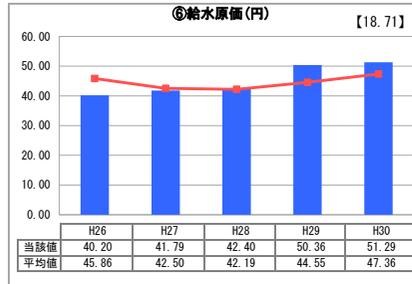
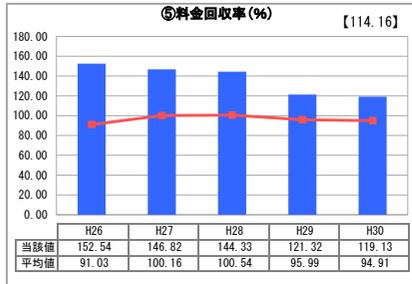
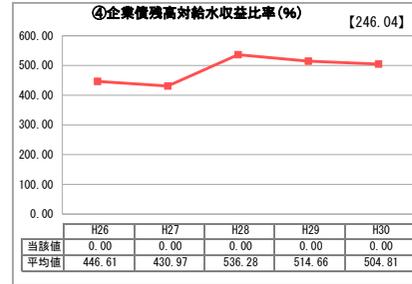
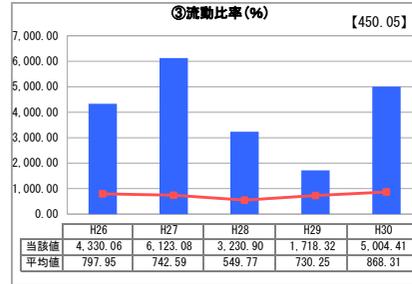
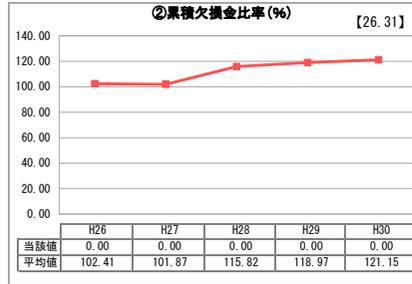
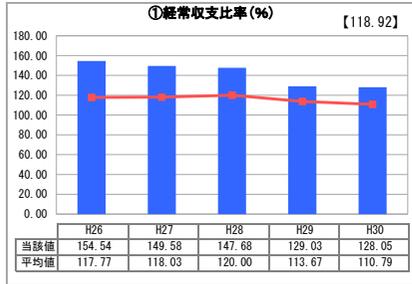
大分県 国東市
【事業概要】

業務名	業種名	現在配水能力(合計)(m ³ /日)	類似団体区分	施設数	1日平均配水量(m ³)
法適用	工業用水道事業	2,300	極小規模	2	444
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	給水先事業所数	契約水量(m ³ /日)	管理者の情報	
-	95.0	3	960	非設置	

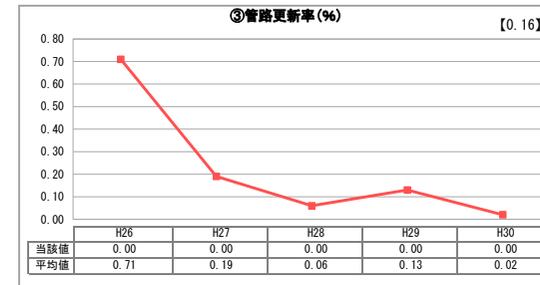
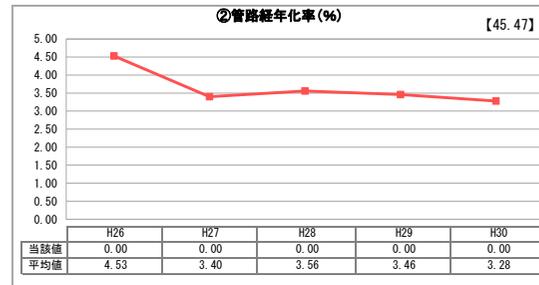
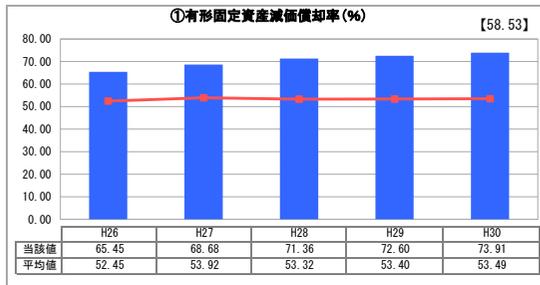
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率128%、流動比率5,004%と過去同様平均値を大きく上回っているが、経常収支比率について年々減少傾向にあるため効率的な経営について検討していく必要がある。また、料金回収率についても100%を上回っている。施設利用率についてはH28年度から増加しており受水企業の使用量が増加していることが要因である。また、契約率は契約水量に対する現在配水能力の割合であり、大きな変化はないため横ばいとなっている。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率が平均を大きく上回っており更新の時期が近づいている。

全体総括

経常収支比率、流動資産ともに経営していくうえで参考となる数値よりも高い数字であり安定した経営を行っているといえる。しかし、老朽化の状況のグラフのとおり管路等の資産の更新が今後近づいているため将来の更新に備えてさらに経営の効率化を図る必要がある。